

提案概要

本コンソーシアムが **強みの「環境・ロボット」分野を核に、テック系スタートアップエコシステム拠点都市を形成**
目指す将来像 **スタートアップの力で北九州市から世界のSDGsの実現に貢献**



- コンソーシアムの会長は国(内閣府)の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」会長もつとめる**北橋 健治 北九州市長**。
産業用ロボット、介護ロボットなどの本市のプロジェクトへのスタートアップの参画を支援するだけでなく、環境・水道分野で築いたアジアなどの海外ネットワークを活かし、スタートアップのグローバル展開を**トップセールス**。**スタートアップの力で世界のSDGs達成に寄与**。
- 加えて、民間主体で「**グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会**」を設置。スタートアップへの伴走によるスケールアウト支援、市内大企業との協業やグローバル展開などを強力にサポート。実行委員会会長は、国際ロボット連盟(International Federation of Robotics) 会長などをつとめた、技術者・経営者の**津田 純嗣 (株)安川電機代表取締役会長**が就任。

本コンソーシアムが掲げるKPI (2024年度までの累計値)

- ① **ユニコーン創出件数1社** ② **市内スタートアップ件数100社** ③ **スタートアップビザ活用件数20件**

リーディング
イノベーター (一例)
(北九州発スタートアップ)



日本環境設計
JEPLAN Japan Environment PLANNING

日本環境設計(株)
服のごみから石油由来原料と同等品質のポリエステル製品の製造



KiQ
Robotics
九工大発ベンチャー
KiQ Robotics(株)
汎用ロボット
HANDの開発



Reif
Dynamics & Design
リーフ(株)
歩行リハビリ支援
ロボットの開発



ON GRIP
オングリット(株)
インフラ点検
ロボ開発



国連会合登壇
(ハイレベル政治フォーラム)

北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム会長

北橋 健治 (北九州市長)

本市のポテンシャルをスタートアップ支援にフル活用



「アジアに開かれた
学術研究拠点」を目指す
北九州学術研究都市



インフラ点検の実証実験



環境・水ビジネスで培った
海外ネットワーク
(ベトナムの水ビジネス支援)

官民が連携した
強力なスタートアップ支援体制



グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会会長

津田 純嗣 氏 (株式会社安川電機 代表取締役会長)

民間リソースをフル活用

ユニコーンを目指す起業家を徹底的に育成支援

グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会会員

- ★ 金融機関7社(融資提案)、野村証券、大和証券(アライアンス先の紹介)
- ★ 日本ベンチャーキャピタル、Gx・PartnersLLP(出資)
- ★ 安川電機(協業、会長職、実行委員会への協賛)
- ★ TOTO、第一交通産業(協業、実行委員会への協賛)